

② 2章割合 NO.37～69 24_45 1比2混合算 3売買算 4増減 5仕事算 6ニュートン算

【問1】A, B, Cの3人である金額を分け合った。分配金の比は、AとBとは3:2, BとCとは5:3で、Cがもらった金額は2,400円であった。Aはいくらもらったか。 (p.25_P13)

- 1 6,000円 2 5,800円 3 5,600円 4 5,400円 5 5,200円

【問2】水95gに食塩5gが溶けているとき、この食塩水の濃度に最も近いのはどれか。 (p.28_R1)

- 1 4.5% 2 4.8% 3 5.0% 4 5.3% 5 5.5%

【問3】定価の2割引で売っても、なお原価の1割2分の利益があるように定価をつけるには、原価の何割増しにつけておけばよいか。 (p.33_P17)

- 1 1割 2 1割5分 3 2割 4 3割2分 5 4割

【問4】 A社の新入社員は昨年の新入社員の20%減で104名であった。性別では男子30%減、女子35%増である。今年的女子社員は何名か。
(p.36_P18)

- 1 20名 2 27名 3 32名 4 36名 5 54名

【問5】 A1人では8日、B1人では10日かかる仕事をAとB2人で行う。このとき、全体の仕事を完成させるのに何日かかるか。
(p.38_P19)

- 1 3日 2 4日 3 5日 4 6日 5 7日

【問6】 ある駅で改札を始めたとき、300人の行列ができていた。毎分15人の割合で人数が増えていく。改札口が1つのときは10分間でこの行列がなくなるという。では、改札口を3つにすると何分でこの行列がなくなるか。
(p.44_No.66*)

- 1 $2\frac{1}{3}$ 分
2 2.5分
3 $3\frac{1}{3}$ 分
4 4分
5 4.5分

【問7】仕事算：A, B, Cの3人が1日にする仕事量の比は2:3:5である。3人そろって仕事を始め、20日で全体の $\frac{2}{3}$ の仕事を行った。その後、Aは3日休み、Bは2日休み、Cは休まず仕事を続けた。全体の仕事が終わるのは初日から数えて何日目か。 (p.41_No.64***)

- 1 31日目
- 2 32日目
- 3 33日目
- 4 34日目
- 5 35日目

【問8】あるホテルでは観光シーズンが終わったため従業員数を前月の $\frac{2}{3}$ に減らした。前月と比べて売上額も900万円減ったが1人当たりの売上額は20%の増加であった。前月の売上額はいくらか。 (p.37_No.57**)

- 1 4,200万円
- 2 4,500万円
- 3 4,800万円
- 4 5,100万円
- 5 5,400万円

【問 9】 ある商品の価格を 2 回続けて値上げした。2 回目は 25%の値上げであったが、結局商品の価格は最初の価格の 1.5 倍になったという。1 回目は何%値上げしたか。 (p.34_No.51*)

- 1 14%
- 2 16%
- 3 18%
- 4 20%
- 5 22%

【問 10】 混合算：25%の食塩水がある。この食塩水から 100g を捨てて 150g の水を加えたところ 10%の食塩水ができた。さらに 50g を捨てて 25g の食塩を加えると、何%の食塩水ができるか。

(p.31_No.47**)

- 1 15%
- 2 16%
- 3 18%
- 4 20%
- 5 22%